

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考	
				知 技	思 判 表	主 体		
1 学 期	4 月	第1編 地理情報システム 第1章 私たちが暮らす世界 1 緯度・経度 2 地球儀と世界地図	・世界各地における、太陽高度や昼夜の時間の季節変化と、緯度や経度との関係について考える。	◎		○	・中学校の内容を 復習しながら進め る。	
			・地球儀上で方位や距離を計測し、さまざまな世界地図での描かれ方と 比することで、世界地図の特徴を考える。		◎	○		
		3 日本の位置と傾城	・領土問題発生の背景が国益の衝突にあることをふまえ、問題を平和的 に解決するための方法について考えます。		○	◎		
	5 月	第2章 地図や地理情報システムの役割 4 地図の種類 5 地形図のルール 6 主題図の種類と読み取り 7 地理情報システムと地図	・さまざまな種類・表現の地図を取り上げ、その役割について考える。	○	◎			
			・地形図を用いて基礎的事項について読み取る。		◎			
			・主題図にはさまざまな表現方法があることを理解する。	◎		○		
	6 月	第3章 資料から読み取る現代世界 8 交通の発達 9 情報通信の発達 10 国境をこえる人々の移動 11 拡大する貿易 12 つながる世界、多極化する世界	・交通手段の多様性とその長所・短所について理解する。	◎	○		・生徒間で話しあ わせる。	
			・通信情報技術（ICT）の発達について理解する。	○	◎			
			・国境をこえる人々の動きについて理解する。	◎		○		
			・世界の貿易とさまざまな地域経済圏について理解する。	○		◎		
			・多極化する世界の変化について考える。	◎				
		7 月	第2編 国際理解と国際協力 第1章 生活文化と多様な地理的環境 13 文化の地域性と多様性 14 宗教と人々の暮らし 15 山地の暮らし 16 平野の暮らし 17 海岸の暮らし	・地域によって文化が異なる理由について理解する。	○			◎
				・宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解する。		◎		○
			・山地におけるさまざまな暮らしの工夫について理解する。		◎	○		
	2 学 期	8 月	夏休み課題		◎	○		・中学校の内容を 復習しながら進め る。
			18 多様な気候とその分布	・大気の大循環によって生じる気圧帯について理解する。	◎		○	
			19 熱帯の人々の暮らし	・熱帯の各気候区における気候要素の特徴について理解する。	○		◎	
20 乾燥帯の人々の暮らし			・乾燥帯の各気候区における気候要素の特徴について理解する。	◎		○		
21 温帯の人々の暮らし			・温帯の各気候区における気候要素の特徴について理解する。	○		◎		
22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし			・亜寒帯・寒帯の各気候区における気候要素の特徴について理解する。		◎	○		
23 食生活と農業の分布			・自然環境の面から、食生活の地域差について理解する。	◎		○		
10 月		24 工場立地の変化 25 商業立地と人々の生活 26 情報産業の発達と生活文化の変化	・工業立地について理解する。	◎			・生徒間で話しあ わせる。	
			・商業の立地の違いについて理解する。	○	◎			
			・通信産業の発展による世界の変化、産業の情報化について理解する。	○	◎			
		第2章 さまざまな地球課題と国際協力 27 地球環境問題 28 地球環境問題(2)	・環境問題のが、人間の活動によって起こされていることを理解する。	○		◎		
		29 資源・エネルギーの偏在 30 化石燃料から再生可能エネルギーへ 31 発展途上国の人口問題 32 先進国の人口問題	・資源・エネルギーの生産地と消費地は離れていることを理解する。	○	◎			
			・エネルギー資源の種類について理解する。		◎			
			・世界の人口推移とその背景を理解する。		◎			
11 月		33 食料需給をめぐる問題 34 発展途上国の居住・都市問題 35 先進国の居住・都市問題 36 民族問題・難民問題	・先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解する。	◎	○		・生徒間で話しあ わせる。	
			・先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解する。	◎	○			
			・食料問題が生じる背景について理解する。	○	◎			
			・発展途上国で進む都市人口の増加の背景を理解する。	◎	○			
			・先進国の都市化と郊外化の背景について理解する。	○		◎		
			○難民が発生する原因や、民族問題の背景について考えます。	○		◎		
		○地球規模で取り組むべき課題が、関連しあっていることを理解します。	○		◎			
12 月	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 38 日本の地形の特色 39 日本の気候の特色 40 地震災害・津波災害(1) 41 地震災害・津波災害(2) 42 火山の災害とめくみ 43 気象災害(1) 寒さ・暑さと台風 44 気象災害(2) 大雨と洪水・土砂災害 45 都市と自然災害 46 防災・減災と復興・復興	○日本の地形の特徴について理解します。	◎		○	・中学校の内容を 復習しながら進め る。		
		○日本各地の地域ごとの気候の特徴を理解します。	◎		○			
		○プレート境界地震とプレート内地震の違いについて理解します。	◎		○			
		○ハザードマップを利用し、自然災害の可能性を読み取ります。	○	◎				
		○日本列島において火山活動が活発な理由を理解します。	○		◎			
		○季節によって発生し やすい気象災害とその特徴について理解します。		◎	○			
		○都市型災害にはどのようなものがあるかを理解します。		◎	○			
		○自助・共助・公助の視点で行われていることを理解します。	◎	○				
		○身近な地域の変遷を新旧地形図の読み取りなどから理解します。		◎	○			
		○野外調査の目的に応じた方法を理解します。		○	◎			
3 学 期	2 月	第2章 生活圏の調査と地域の展望 47 調査テーマの設定 48 地域調査1（資料調査） 49 地域調査2（野外調査） 50 まとめと発表	○地域調査のまとめ方について理解します。		○	◎	・生徒間で話しあ わせる。	
					○	◎		
					○	◎		
					○	◎		
					○	◎		

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価 方法	<p>・年5回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における知識と資料活用の技能の習得の状況、思考・判断・表現を評価する。</p> <p>・課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とする。</p> <p>・学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とします。</p> <p>・授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。</p>
	<p>・年5回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における知識と資料活用の技能の習得の状況、思考・判断・表現を評価する。</p> <p>・課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とする。</p> <p>・学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とします。</p> <p>・授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。</p>